



松阪まちなかまちづくり

市民意見聴取会




- 開催日：平成24年11月17日（土）
- 時間：午後1時30分～午後4時
- 場所：松阪市産業振興センター 3階研修ホール
- テーマ：中心市街地のまちづくり
 1. 「松阪まちなか再生プラン」のこれまでの取り組みについて
 2. 中心市街地のこれからのまちづくりについて

【コーディネーター】 芹澤高斉 三重中京大学准教授
【パネリスト】 松阪まちなか再生プラン推進委員
山中光茂 松阪市長

■ 参加者：55名

■ プログラム

1. 開会
2. 松阪市長挨拶（山中光茂）
3. 松阪まちなか再生プラン推進委員長挨拶（高島信彦）
4. 意見聴取
 - ・ コーディネーター挨拶（芹澤高斉）
 - ・ 松阪まちなか再生プラン推進委員からの自己紹介と活動報告
 - ・ 「松阪まちなかまちづくり市民アンケート調査」結果報告
 - ・ 会場との意見交換
5. 閉会



主 催：松阪市
松阪まちなか再生プラン推進委員会



松阪市マスコットキャラクター
ちやちやも

●あいさつ

【山中光茂 松阪市長】

本日は、「松阪まちなかまちづくり市民意見聴取会」に、皆さま方に集まって頂きましたこと、心から感謝申し上げます。

「松阪まちなか再生プラン」という市民みんなで考えて作ってきたプランを推進するために、高島推進委員長を始めとして、定期的に何度となく集まって頂きました。また、行政職員さんにも入って頂いて、行政職員の各部局と、市民の各分野の皆さま方がボランティアベースで集まって、これまで、自分たちに出来ることは何か、行政に出来ることは何か、それぞれの役割分担の中で「松阪まちなか再生プラン」の60項目をどのように実行していくか、ということを議論してきました。



この「松阪まちなか再生プラン」におきましては、最初、段階的な3回に渡る意見聴取会、ワークショップというものをやってきましたが、松阪の駅西地区の開発が都市計画決定されている段階で、それを本当に外してしまっているだろうか、駅西開発をやるべきかやらないべきなのかという議論からスタートいたしました。また、松阪の場合は、飯南、飯高、嬉野、三雲という旧町のまちづくりというものがあり、その中で「まちなかを活性化させる」ことの意味合いというものがどのような部分であるのだろうか、という議論もありました。

その中で今出来ること、そしてそれぞれの立場で出来ることとしてみんなで考えた計画について、行政職員も言葉だけでなく、ちゃんと汗を流して頂いていると思っております。そして何より、地域の皆さま方、団体の皆さま方が一つ一つの目標に向けてまちなかの再生という形で一つ一つ具体的に取り組んで来る中で、アンケートでは4年前と比べて中心市街地への意識というものが高まっているという結果が出ております。また、それぞれの「歴史」、「商」、「食」、「住」、「駅周辺」という項目におきましても、それぞれ一定の評価を頂くという結果が出ております。

これからも、また次年度以降のまちづくりにおきましても、この「松阪まちなか再生プラン」の次のステップをどうしていくのか、まち全体としてそれぞれの役割と責任を負った中でのまちなか再生、「松阪まちなかまちづくり」という部分に対して、今日はそれぞれの立場からこの3年間の成果を含めてご発表頂くと共に、次の計画策定と実行に向けて、来週に行われる観光戦略のシンポジウムとも連動させていく中で、「観光戦略・まちづくり計画という部分に向けた具体的な松阪市のまちづくりが今からスタートしていく」という気持ちで、意見聴取会を行わせて頂きたいと思っております。

皆さまから多様なご意見を頂けますことを、心から期待しております。
よろしくごお願い申し上げます。

【高島信彦 松阪まちなか再生プラン推進委員長】

皆さんこんにちは。ようこそおいで頂きまして本当にありがとうございます。

この「松阪まちなか再生プラン」の内容は、今、市長さんからだいたい皆さんにおっしゃって頂きましたので、経過的な部分を報告させていただきます。

平成 22 年に再生プランが出来、平成 23 年にはそれをどのように推進していくかを皆さんに議論頂きました。そして、今年は最終年度となります。現在、皆さんご承知の通りかと思いますが、「松阪まちなか再生プラン」自体は「歴史・文化」であったり、「商」、「住」などで 60 項目あります。その中で 16 項目が完了、あとの 44 項目は現在進行中となっております。

それから、先ほどの市長さんの言葉にありましたように、この推進委員会自体、官民が協働でやっております。行政主導でもなく、民間だけが推進していく団体ということでもありませんので、一番良い形の推進事業かなと自分なりに思っております。

そういう意味を兼ねまして、昨年、平成 23 年度の発表会で壇上で挨拶をさせて頂いた時に、このまま「松阪まちなか再生プラン」が平成 24 年度で終わるのは非常にもったいないと、切実に、自分の言葉なりに訴えたところ、市長さんが、その後の挨拶の時に「そしたらやりましょう」みたいな感じでお答え頂きました。

その時の言葉を本当にありがたいなと思っております。というのは、市民の意見と行政の意見というのは多少違う中で、市民の意見が行政・市政に反映できるということ、市政がやろうとしていることも市民の意見を聞いた中での事業展開となるということで、非常に良かったと思います。

今回、この事業の個々の内容自体をご議論頂き、また提案を頂き、次年度から進めていく松阪まちなか再生プラン推進委員会でも、名前はともかくとして、そういう事業展開をしていきたいと思っております。皆さんは、170ha を対象にいろんなご意見をお持ちだと思いますので、自分の思ったことなど、どんな意見でも是非ともここで頂きたいということをお願いして、挨拶に替えさせていただきます。

ありがとうございます。



●松阪まちなか再生プラン推進委員からの活動報告

《歴史》“氏郷”と“豪商”のまちを語り継ぐ ～ 歴史の物語りを温めるまちづくり ～

【高島信彦 委員長】

- ・ 毎年 11 月 3 日の氏郷まつりの際に、産業振興センター 1 階で蒲生氏郷を紹介する「氏郷の生涯展」を開催するとともに、お茶のおもてなしを行っています。
- ・ 氏郷まつり 50 周年にあわせ、「蒲生氏郷公ゆかりネットワーク in まつさか」を開催、併せてお茶会や氏郷夜まつりを開催しました。
- ・ 氏郷公顕彰会の活動を通して、滋賀県日野町や福島県会津若松市など氏郷公ゆかりの地との市民間交流を深めています。



氏郷まつり お茶会

【谷口洋一 委員】

- ・ 平成 21 年 10 月に松坂城跡保存管理計画策定委員会を立ち上げ、平成 24 年 3 月に「松坂城跡保存管理計画」を作成しました。
- ・ 平成 22 年 10 月に松阪コミュニティ文化センターで「平成 22 年度 松坂城跡シンポジウム」を開催しました。
- ・ 「御城番屋敷」について、苗秀社の協力のもと、文久 3 年の建設以来の大修理を平成 20 年度からの 3 ヶ年計画で行い、平成 23 年 3 月に改修工事を完了しました。
- ・ 「原田二郎旧宅」について、平成 22～23 年度にかけて建物修理工事を、平成 24 年には庭園整備を行い、平成 23 年 12 月には景観重要建造物の指定を受け、平成 24 年 10 月から一般公開を行っています。
- ・ 三井家発祥地・長谷川邸等の一般公開を、平成 23 年 10 月 28 日に実施しました。
- ・ 平成 23 年度に歴史地名標柱の点検と復元を行ったほか、松阪木綿をモチーフにした統一的な松坂城跡への誘導のための看板を 4 ヶ所に設置しました。
- ・ 今後、長谷川邸の寄贈後の活用について取り組んでいきます。



改修後の御城番屋敷

【梶間重伸 委員】

- ・ 平成 24 年 6 月に、松阪駅前駐車場（JR 線路沿い）に大型バスの駐車場を確保しました。



大型バス駐車場

【米田健 委員】

- ・平成23年3月に松阪物語パンフレットを改訂しました。
- ・「国学の道」、「豪商の道」、「武将の道」の3つの散策ルートを設定し、それぞれ本居宣長、蒲生氏郷、三井高利にゆかりのある名所旧跡をマップに落とし込んだまち歩きマップを作成しました。
- ・「松阪ガイドボランティア」の協力を得て、まち歩きマップを活用したウォーキングを開催しました(平成23年6月4日「豪商の道」、平成23年6月12日「国学の道」)。
- ・「三井高利展」を、東京日本橋の三越本店で平成24年10月17日～22日に開催、来る平成24年12月4日～12日に松阪市文化財センターにて開催します。



豪商の道ウォーキングのようす

【宮村元之 副委員長】

- ・平生町を中心に、木のベンチを33基設置しました。



木のベンチ

《商》 来て・見て・買って 21世紀の「楽市楽座」 ～ 賑わい活力のある元気な商店街づくり ～

【宮村元之 副委員長】

- ・「ゆめの樹通り100円商店街」を開催しました。
- ・「街コン」を新町で開催しました。平成25年2月には駅前で開催する予定です。
- ・「カウントダウンイベント」を平生町で開催しました。今年度はカリヨンと平生町の2ヶ所で開催する予定です。
- ・地域間交流イベントとして東日本大震災復興イベントを実施し、沖縄エイサー祭へ参加しました。12月には石巻支援の抽選会を行う予定です。



ゆめの樹通り100円商店街

【中村哲也 委員】

- ・ 「松阪えきまえ楽市」を平成 22 年 6 月から開始し、現在では集客力アップと来街者の商店街への回遊を図るため、ワンコインセールの「べるたうん楽座」と併せて「楽市楽座」として、毎月第 3 土曜日に開催しています。
- ・ 最近では、松阪市の歯科衛生士組合や、医療生協の方、演歌歌手が機材を持ち込んでキャンペーンをやったり、商店街以外の人々にも広がりを感じています。また、昨年 11 月に見学にいった長野県の佐久市のぴんころ地蔵をヒントに、商店街の近くにある弥勒院善福寺の水掛不動尊、不動明王の宣伝を兼ねて PR して、大型店にはない地域の宝物を利用して、商店街の認知度を上げていきたいと思っています。



べるたうん楽座

【中野潮美 委員】

- ・ 空き店舗を利用して、ゆめの樹通りに「夢休庵」、ベルタウンに「すずらん」、よいほモールに「鈴音」というおもてなし処を開設しました。
- ・ 空き店舗を利用して、2月から3月にかけて、松阪まちなかお雛さま祭りを開催しています。
- ・ 平成 24 年 5 月に「松阪撫子どんな花？祭り」を開催しました。献花式・献歌式・キッズなでしこの歌と踊りのあと、なでしこ姫振袖道中が行われました。
- ・ 松阪まちなかお雛さま祭りに関連して、美し国三重ひな街道実行委員会に参加し、県内の女性グループと提携、県内への周知、チラシ作り等を共同で行っています。また、女将さんサミットへの参加など、その後も県内の女性グループと交流を続けています。



なでしこ姫振袖道中

【加藤文基 委員】

- ・ 毎年 8 月第 1 土曜日に、本町の松阪大橋から国道 42 号までの間を通行止めし、「七夕まつり・鈴の音市」を開催しています。



鈴の音市

【植村雄治 委員】

- ・平成23年12月から平成24年3月にかけて、「松阪まちなかプラザ」を開設、4ヶ月間で4,934人の来場者がありました。
- ・商工会議所のホームページで、商店街の全店舗マップと空き店舗情報を平成23年6月から掲載し、情報発信の充実を図りました。
- ・「空き店舗等出店促進補助金制度」を活用した新規出店数は、平成23年度は平成22年度を上回る5店舗となりました。
- ・若手商業者への交流促進事業として、平成23年度末から懇談会を開催しています。平成24年度では、若手メンバーが中心となって商店街の新規事業である「まちゼミ」の実施に向けて取り組みが進められています。



松阪まちなかプラザ

【山本光雄 委員】

- ・3部構成の「まちなか開業塾」を平成22年度から3回開講しました。
- ・「空き店舗等出店促進補助金制度」を創設しました。



まちなか開業塾

《食》日本一のグルメタウンを感じよう

～ 松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり ～

【梶間重伸 委員】

- ・松阪商店街あきないマップ、松阪駅周辺ホルモンマップを作成しました。
- ・こだわりマップを増刷しました。

【宮村元之 副委員長】

- ・平成23年10月15日に第5回三重県ご当地グルメ大会（松阪市）を開催しました。
- ・平成23年3月5日に松阪まちなかお雛様まつりで“松阪鶏焼き肉”を振る舞いました。
- ・現在、「Doit! 松阪鶏焼き肉隊」という団体を中心に、「B-1 グランプリ」出場を目指して頑張っています。



食べ歩きマップ

《住》人の和が広がるスマイルタウン

～ 笑顔が生まれる幸せなまちづくり ～

【谷口保司 委員】

- ・ これまでに、防災講演会を4回、避難訓練を4回、救命訓練を3回、救助訓練を2回、消火訓練を2回、マンションの消化避難訓練を2回など、様々な訓練を行いました。
- ・ 平成23年9月26日に住民協議会設立準備会を設立し、3月21日には住民協議会設立総会を開催、「松阪中央住民協議会」を設立しました。
- ・ 「松阪中央住民協議会」は3つの委員会から構成され、毎月1回行われる各部会の発表会を例会として運営されています。



本町防災訓練
平成22年11月14日

《駅周辺》出会い・ふれあい “松阪駅”

～ 人にやさしいリニューアル ～

【梶間重伸 委員】

- ・ 平成23年1月に「まつさか交流物産館」を開設し、地元特産品や南三重地域などの特産品のPR(販売)を行っています。
- ・ 開業1周年で2万5千人の来場者がありました。



まつさか交流物産館オープン式

【谷口保司 委員】

- ・ 整備イメージを決めるためのワークショップを3回開催し、JR松阪駅前広場を、「和」のイメージを基調とした松阪の歴史文化を感じるまちとしました。
- ・ 平成23年5月から平成24年2月にかけて、JR松阪駅前広場修景整備工事を行いました。
- ・ 平成23年7月9日に市民を対象とした現場説明会を行いました。
- ・ 平成23年9月18日に、子どもたちのメッセージを書いた瓦レターを制作し、シェルターの屋根瓦に使用しました。作成した瓦レターは、10月1日に子ども達も参加する中で屋根に瓦を葺きました。
- ・ 平成24年3月17日には、JR松阪駅前広場リニューアルオープンセレモニーを行いました。



リニューアル後のJR松阪駅

● 「松阪まちなかまちづくり市民アンケート調査」結果報告

■ 目 的

松阪まちなかまちづくり市民アンケートは、松阪まちなか再生プランのこれまでの取り組みと、今後の中心市街地のまちづくりに対する取り組みについて、市民の皆さまの意向を把握し整理することを目的として実施しました。

■ 概 要

対 象 者：松阪市にお住まいの 18 歳以上の方の中から、3,000 名の方を無作為で抽出

調査期間：平成 24 年 9 月 3 日から 10 月 15 日までの、約 1 ヶ月間

配 布 数：2,987 通

回収結果：回収数 1,163 通 回収率 38.9%

■ アンケート結果（概要）

- ・ 中心市街地については、「魅力がない」、「活気がない」という意見が多かったのですが、平成 21 年度の結果と比較しますとその割合は少なくなっています。
- ・ 現在の商店街の印象も「さみしい」という意見が多かったのですが、平成 21 年度と比べますと、その割合は減少しています。商店街の魅力については、商品に関することよりも施設やサービスに関する意見の方が多くなっています。
- ・ 松阪まちなか再生プランの取り組みについては、全体で約 25%の方が「よく知っている」、「少し知っている」という回答でした。認知度が低いという結果が出ていますが、全体を通して、問いかけたほとんどの取り組みに対して、「評価する」といった回答を得ることができました。

■ アンケートで寄せられた意見（一部抜粋）

【観光・おもてなしに関するご意見】

- ・ 特色あるまちづくりを行い、県外から観光客などが訪れてもらえるようにすること。
- ・ 市民一人一人が「おもてなし」の心を持つことができれば 必ずいい街になると思います。

【中心商店街や駅周辺に関するご意見】

- ・ 疲れたら、ちょっと休憩できそうな店があり、見るだけでも楽しい、おいしそうな匂いがしているそんな商店街だったら行きたい。
- ・ 若者や学生向けの店があれば、若い人がもう少し目を向けるのではないかと思う。

【まちづくりに関するご意見】

- ・ 今すぐに結果の出る取り組みと共に、10年後、20年後に向け、じっくり進めていくまちづくりも大切だと思います。
- ・ 歴史文化財の保存やPRを、さらに広めていくのも良いと思います。
- ・ 住民と行政がより一層協働して、中心市街地のまちづくりを進めることによって、松阪市全体の活性化につながっていくと確信しています。

●意見聴取会で頂いたご意見

【駅前リニューアルについてのご意見】

- ・足回りが良くなったので、雨の日でも駅に行きやすくなったと感じている。

【駅前の牛についてのご意見】

- ・駅前の牛については、松阪牛は世界に輸出するくらいの財産であり、もうちょっと大きいものと思う。
- ・牛は、現在のサイズだと5、6歳児に対して牛の突起物等が非常に危険だと思う。もう一回作り直す必要はないが、全体か、または牛だけを囲い安全性を確保する必要があるのではないか。

【まつさか交流物産館についてのご意見】

- ・リニューアルされたことによって、物産館に来る人達が多くなったと思う。
- ・交流物産館は、飯南、飯高、三雲、嬉野の特産品等がよくわからない一方で、紀州路のものが置いてあるというのはどうなのかなと思う。それぞれの地区にそれぞれの名産品があると思うので、その辺をもっと分かりやすくした方が良いと思う。

【健康センターについてのご意見】

- ・以前、地元新聞の夕刊で、春日町にある市の健康センターが駅前の方へ移設するかもしれないという記事があった。地元の方は困るかもしれないが、駅前に来るようならば、使い易いと思う。

☆山中市長のコメント☆

春日町の健康センターについては、現況のままでは十分な機能を発揮できないとして、一年ほど前から協議を始めております。

その協議の中で、「駅西地区を一次医療の拠点とする」ことは具体的なアイデアの一つとなっております。今後、シミュレーションをしっかりとさせて頂いて、早い段階には意見聴取会を開催したいと考えています。

【中心市街地についてのご意見】

- ・駅前から中町の交差点あたりが本当の中心市街地だと思う。
- ・中心市街地の170haは、参宮街道と和歌山街道に沿ってもうちょっと広げても良いと思う。
- ・中心市街地はまちの顔なので予算を余分に使ってもいいと思う。

【中心商店街についてのご意見】

- ・新町通りの歩行者が非常に少ないので、イベント等でもう少し力を入れる必要があるのでは。
 - ・後継者の問題とか、商店をどうすべきかというような先のことについても平行線で考えていかないといけないと思う。
-

-
- ・ 商店街の水銀灯は、そろそろ交換の時期が来ていると思うが、行政と商店街全体とで一括して対処する必要があると思う。
 - ・ 中心市街地の夜のイルミネーションに一貫性があり良いと思うが、活性化という点から見て、もうちょっと賑やかにして頂きたい。

【松坂城跡についてのご意見】

- ・ 松坂城の石垣の一部が欠けている。どうなっているのか。

【「松坂まちなか再生プラン」についてのご意見】

- ・ 個々の事業が「松坂まちなか再生プラン」という形でつながっている。これからも拡充して松坂の成長につなげて頂きたい。
- ・ 市民アンケートの結果では、関心の薄さが現れていた。様々な情報発信をするなど、何らかの働きかけをすることが必要ではないか。
- ・ PDCAのうち、チェックとアクションにもう少し力を入れるべきではないか。
- ・ 今後、市民の意識を高めることの一つの策として、3年間の活動をまとめる際には、目標を数値化するとともに、数値で展開や実績を表して頂きたい。

【これからのまちづくりについてのご意見】

- ・ 氏郷まつりで実施した、「松坂のオンリーワンは何か」というアンケートでは、やはり松坂牛が一番という結果が出た。今後、こういう松坂にとってのオンリーワンを育てて、成長戦略にして頂きたい。
- ・ これからのまちづくり再生では、市全体の一体的な計画があって、その中で個々のプランが重要になってくる。“点”である個々の努力を“面”で捉えることが大切だと思う。
- ・ アンケート結果を松坂のまちづくりに必要なデータとして活用すると、“点”が“線”や“面”につながってくると思う。
- ・ 事業をする上で資金調達は重要であり、PFI など民間の活力を活用することも必要だと思う。
- ・ 松坂市の中で中心市街地がどういう役割を担うべきかを、改めて考える必要がある。
- ・ 中心市街地の役割を考える上で、生活とか、市外の方を招く、産業を追加するといった点について、松坂の持っているポテンシャルを整理し、その上で考えていく必要がある。
- ・ 我々一人一人の意識がまだまだ足りないと思う。これからの一番の課題ではないか。



●意見聴取会のまとめ

【コーディネーター】 芹澤高斉 三重中京大学准教授

- ・「松阪まちなか再生プラン」というプランは、トップが計画を作るだけではダメで、それに基づいて実行していくということが非常に大切である。これは市民、フロアの方、各委員の共通認識だと思う。
- ・市民や行政など様々な立場の人々が行っている取り組みが、それぞれの方向性とどういう取り組みがあるのかを一つのプランにまとめることによって、お互いの協力関係ができ、また将来を見据えることが出来る。そういうメリットを持っている。
- ・今日は、比較的、これまでの取り組みに対してのご意見を伺っているという色彩が強い。
- ・これまでの取り組みについては、概ね、良い評価を頂いている。今回のアンケート調査の中でもそれは現れている。推進委員会の果たした役割は非常に大きかったのではないかなと思う。
- ・これまでの取り組みを踏まえて、今後も継続していく必要性は感じられる。
- ・長期的な視点については、今一度、機会を設けて進める必要を感じる。



【パネリスト】 高島信彦 松阪まちなか再生プラン推進委員長

- ・今からがスタートではないかと感じている。
- ・推進委員会には様々な立場のメンバーがおり、市民の意見の反映した行政のやり方をしながら、地道に活動している。これは、市民の中に事業自体がすごく浸透していると言える。
- ・今日は、会場の皆さんから推進委員のメンバーに対して暖かい意見を頂いたとともに、しっかりしろという意見を頂いたと思う。
- ・今後は、個別の、“点”の部分にこだわらず、全体の中で事業展開をしなければならない。
- ・これからも皆さんの意見を活かしてまちづくりをしていきたいと思う。



●閉会のあいさつ

【山中光茂 松阪市長】

まずは、皆さま方、長時間に渡って意見聴取会にご参加頂き、本当に意義のある、思いがこもった皆さま方の声を発言して頂いたことに、心から感謝を申し上げます。

そして何より、松阪まちなか再生プラン推進委員の皆さま方の3年間、定期的にかなりの数の会合を重ねて来て頂く中で、本当に地道にやってきました。

この「松阪まちなか再生プラン」が出来上がった頃の1回目の会合に行かせてもらった時に、60項目ある中、1回の会合で4項目、5項目しか進まなくて、まず60項目を検証するだけでもどれだけの時間がかかっていくんだろうというような思いがありました。

ちょっと身内のことも言いますと、民間の皆さまがご尽力頂いたのが何よりですが、教育委員会さんと観光課と都市計画課で連携を一生懸命やっていく中で、職員さんもボランティアベースで、時間外だったりとか、本来必ずしもやらなくても市民から怒られない部分で汗を流して、松阪市の職員らも本当に一生懸命やって頂いておりました。

そして今回の60項目の発表の中で、松阪市の各担当部局もですけれども、これだけのメンバーが、商工会議所さん、商店街さん、そして女性の方々、観光協会さん、いろんな方々がそれぞれの立場で、この60項目、実はほとんどが新規事業なんですね。確かに“点”かもしれないけれども、60項目という形で、新規事業として汗を流した部分というのは、間違いなく高島委員長の言われた今後の土台作りになるのは間違いありません。

この松阪まちなか再生プランは、ここで決して終わる訳ではなくて、あくまで、皆さんで喧々諤々の議論をして、最初5項目6項目を議論するだけで2時間、3時間過ぎ去っていった、そういうことの積み重ねを皆さんですずっとやってきて頂いた、市民みんなが参加してもらってワークショップをしたりとか、いろんな項目においてそれぞれの立場で努力をして頂いた。これが次年度以降において、いろんな形で全体のビジョンにおいて結びついていく、そのスタートラインに今日立てたなというのが改めて感じる部分がございます。

これまでの3年間で、土台作りを市民みんなで作ってきて頂いた。これが今から様々なハード面の投資もあれば、それに対してソフト面で、そして全体としてはビジョンの部分を含めて、観光戦略や、そして飯南、飯高、嬉野、三雲も含めて、まちづくり戦略にまちなかからいろんな発信をすること、外から中に入ってくることで、そういう部分も連動して、みんなで作っていくまちづくりのスタートラインに、今日からまた改めてお願いをしたいなと思うところでございます。

今日は本当に長時間のご参加、感謝申し上げます。ありがとうございました。

●会場アンケートで寄せられた主なご意見

【松阪まちなか再生プランについてのご意見】

- ・この計画を続けて欲しい。
- ・結果だけでなくその原因なども考慮してもらい、解説を加えてもらってはどうか。
- ・アンケート結果で「今の区域でよい」は55%とあったが、計画を知っている人が少ないので、愛宕町など他のエリアも入れるべきでは。
- ・「松阪まちなか再生プラン」は成果が上がっているなので、是非今後も続けて頂きたい。
- ・各種イベントは、開催前に十分にPRして下さい。

【今後のまちづくりについてのご意見】

- ・駅前から松坂城までのまちなみを、松阪らしさを全面に出した整備をすれば、活気もさらに出るのではないか。
- ・長谷川邸の今後の公開に向けた取り組みに期待している。小津と商人の館もぜひ活かして欲しい。
- ・松阪駅前始め商店街に活気がないので、イベント時以外にも集客を持続できる方法を検討してはどうか。
- ・3年間の到達を新しい計画作りに。
- ・計画を作るにあたっては、マスタープラン等「面」で捉える考え方を。
- ・中心市街地の活性化の効果が見えるようにして下さい。
- ・地域開発については、専門家の人達の意見を取り入れて欲しい。

【その他、感想など】

- ・全体のマスタープランや達成する為の進め方等、実質的な方向性の意見が聞けたら、より良かったと思いました。
- ・古き良き商店街を知るご年配の方々が尽力され関心も高いようでおられる反面、若者の参加率が低い。
- ・岡寺・厄除けは日本一の行事。廃れさせてはいけない。魅力ある街。文化が必要！！
- ・市外の人間には、鈴といえば駅前と最中くらいしか浮かばないので、もっと鈴を松阪市の売りにしては。
- ・「蒲生氏郷を大河ドラマに」というのは単なるスローガンだったのでしょいか。

【意見聴取会の運営についてのご意見】

- ・説明が長すぎる。取り組み内容と成果は最低限にし、本題の検討をもっとやるべき。
- ・時間が短く将来のまちづくりを議論する時間がなかった。
- ・今回はこれで良いのでは。
- ・フロア参加者に若い方が少なく残念。ワークショップでは若い方、女性も多かった。